

進化する 紀州林業

しんか
ぎしゅう
りんぎょう

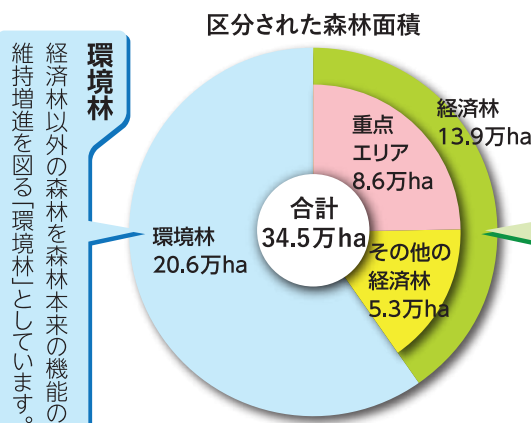
本県は、古くから「木の国」と呼ばれ、林業の盛んな地として知られています。近年では、ICTを導入した「スマート林業」が推進されており、社会の脱炭素化の観点からも、二酸化炭素吸収源としての森林や木材の活用が期待が高まっています。県では、このような機運を捉え、木材生産量を大幅に増やすことなどを目標に「森林・林業「新」総合戦略」を策定しました。

森林を「経済林」と「環境林」に区分し、施策の選択と集中を行うことで森林資源を最大限に活用するとともに、次世代の担い手を確保・育成する取組をさらに進めます。

けんちょうりんぎょうしんこうか
県庁林業振興課 ☎073-441-2963
けんちょうしんりんせいびか
県庁森林整備課 ☎073-441-2972

経済林

運搬用のトラックが走行できる道路から近く、傾斜が緩やかなスギ・ヒノキの森林を「経済林」に選定し、さらに、手入れが進み良質な木材の供給が見込まれる森林を「重点エリア」としています。豊富な資源を持続的に活用していくため、伐る・使う・植える・育てるという循環型林業に取り組んでいます。



伸ばす

林業の 成長産業化

せいちょうさんぎょうか

経済林

新技術を活用

木材生産の効率化・省力化を図るため、高性能林業機械やICTの導入を支援し、「スマート林業」を推進しています。

調査

レーザ測量器

現場の地形や木の配置などをレーザースキャンで取得し、データ処理することで調査・管理業務を効率化

植林

大型ドローン

植林用の苗木や林業資材を運搬し、安全・効率的に植林

航空レーザ地形データ

航空レーザで取得した地形データと路網設計支援ソフトで効率的に林道設計・整備

林道整備



集材

油圧式集材機・架線式グラップル

遠隔操作で木材をつかんで架線運搬し、急傾斜地でも安全・迅速に集材



伐採

高性能林業機械

立木の伐採、枝払い、丸太への切り分け、集積作業を1台でこなす自走式機械で伐採・造材を効率化



流通・販売体制を強化

●丸太の価値を向上

紀州材の強度に優れた特徴に着目し、原木強度の測定と客観的な強度指標の表示により、丸太の付加価値の向上を図っています。

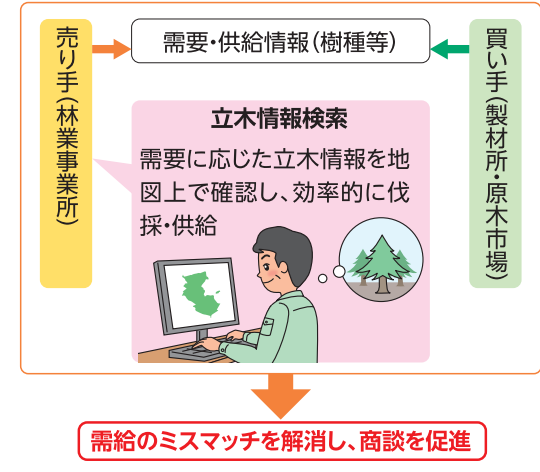


スギ (E90以上) ヒノキ (E110以上)

紀州材の大半は、日本建築学会が定める強度値(スギ:E70、ヒノキ:E90)を超える強度を持っています。

●円滑な商談を促進

需要と供給のミスマッチを解消し、円滑な商談を促進するためのシステムを整備しています(令和5年度運用開始予定)。



●県外向け販路拡大

- ・紀州材を扱う県外工務店を基準により「わかやま紀州材利用推進店」に認定し、紀州材使用量に応じて上限額100万円(最大3年間)を支援しています。
- ※支援の要件
- ・県内製材所と紀州材利用協定締結
- ・紀州材による建築棟数を年間5棟以上
- ・WEBサイトや内覧会で紀州材をPRなど

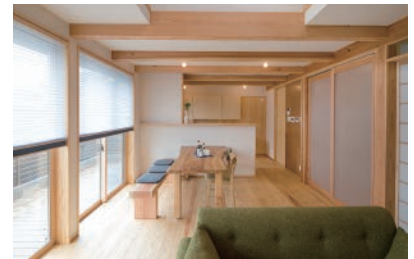


紀州材の利用を推進

●住宅

県内で紀州材を使用した住宅の新築やリフォームをされる方へ補助金を交付しています。

【構造材】
最大20万円の補助
【内外装材】
5万円の補助

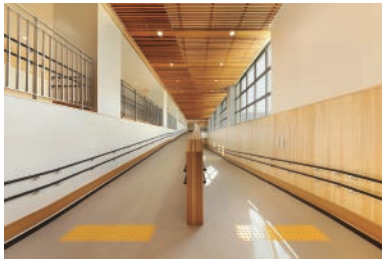


●公共施設等

県では、木材利用方針により、低層(4階未満で床面積3,000㎡以下などの建築物は原則として木材の利用を推進しています。また、木製品の普及や木造建築を専門とする建築士の養成にも取り組んでいます。



紀州材のおもちゃ



南紀・はまゆう総合支援学校校舎

紀北工業高校生徒ホール